

ひょうご環境保全創造活動助成 活動報告書

団体名	ナシオン創造の森育成会		
団体の所在地	兵庫県西宮市	代表者名	中尾 利子

1. 事業名	住民参加の自然啓発活動		
2. 実施期間	平成 28 年 4 月～平成 29 年1月		
3. 主な実施場所	西宮市東山台【ナシオン創造の森】		
4. 活動形態	・団体立ち上げ <input checked="" type="checkbox"/> ・普及啓発活動 <input checked="" type="checkbox"/> ・実践活動 <input checked="" type="checkbox"/> ・調査活動 <input type="checkbox"/> ・環境パートナーシップ事業（協働団体名： ） ・その他（ ）		
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	①【ウォークラリー in 創造の森】 平成 28 年4月9日(土)一般参加 30 名、会員 11 名 創造の森で特徴あるポイントを設定し、地図とコンパスとコース上のポイント写真を手掛かりにウォークラリーを実施。2つのコースを準備し、途中の5か所のポイントでは、創造の森や、育成会の活動に関するクイズにチャレンジしてもらった。 クイズ全問正解者には森の材料で作った木工作品と賞状を授与した。ラリー後は用意されたトン汁をいただいて、親睦を図った。 ②【伐採体験とヤキイモ大会】 平成 28 年 12 月 10 日(土)一般参加 42 名、会員 10 名 参加者は3つのプログラム(伐採体験、クラフト作り、森の探索)に分かれて活動した。「伐採体験」では中径木を2本伐り充実した体験をしてもらえた。「クラフト作り」は、森の材料でクリスマスリースやツリーを作りとても良い作品ができた。「森の探索」ではアイマスクを付けて音に注目しながら森の中を歩いたり聴診器で樹木の幹から音が聞こえるか試したりしながら森の中のミニハイキングを楽しんだ。その後ヤキイモや豚汁も美味しくいただき、秋以降積み重ねた準備の成果を感じられる内容となった。		
6. 成果・反響・ 反省点等	②のイベントに参加された 20 代男性が会員になることを希望し、60 代女性は定例活動に体験参加いただいた。身近にある良好な自然が保全されているのは、人が直接自然と関わり、木を伐ることで維持されていることを知っていただいた。森に手をいれることで林内散策は気持ちよく、伐った木からはいろいろ工夫することで楽しい木工細工ができることも体験できた。 ①②を通じて参加者からはまた森に来たいと喜んでいただき、このような環境が次の世代に引き継いでいけるよう、一人でも多くの方が自らのこととして捉えていただけることがこれからの課題です。		
7. 成果物	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> 左から ・育成会三つ折りリーフレット ・秋のイベントチラシ ・育成会だより </div> </div>		
8. 活動写真 説明	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <p style="text-align: center;">春はウォークラリー、秋は間伐やリース作り</p>		